

## ～エムズサイエンスの産学共同研究結果報告～ プラセンタ含有洗顔の4週間使用による目尻のシワ改善効果を確認

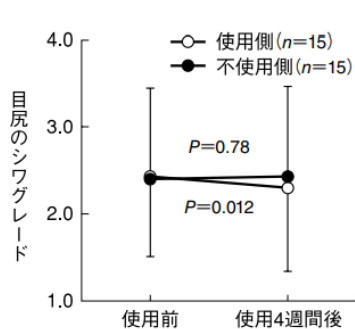
株式会社エムズサイエンス（本社：福岡市 社長：山口真）は、長年に渡り、シミやしわの改善を促すスキンケア製品の研究開発に取り組んでまいりました。この度、浜松医科大学細胞分子解剖学講座 菊島健児氏、近畿大学産業理工学部生物環境化学科 大貫宏一郎氏と共同研究を実施。プラセンタ含有洗顔を4週間使用することにより、目尻のシワを改善することがわかりました。また、肌の透明感、明るさ、潤い、ハリなど13項目で改善が見られました。本研究は、「薬理と治療 vol.48 no.10 2020」で発表されました。

### 研究の背景

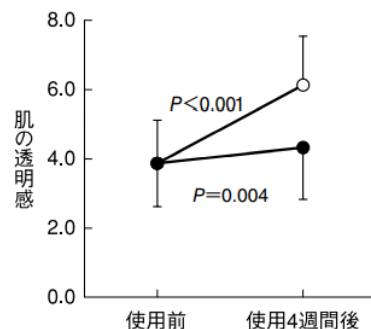
プラセンタは古来より世界各地で医薬品として用いられてきた歴史があり、日本においては、プラセンタ抽出液は、美白効果のある医薬部外品として厚生労働省に定められています。しかし、効果的な使用方法は、定まっていません。そこで、当社は、プラセンタ含有洗顔を継続的に使用することで、肌に得られる効果を研究いたしました。

### 結果の概要

1. プラセンタ含有洗顔は、目元の小ジワを有意に改善した。
2. プラセンタ含有洗顔は、目元の小ジワだけではなく、肌の透明感、明るさ、潤い、かさつき、やわらかさ、つや、なめらかさ、キメ、化粧のり、ハリ、洗顔後のつっぱり感、総合的な満足度において有意な改善が見られた。



目じりのシワが改善



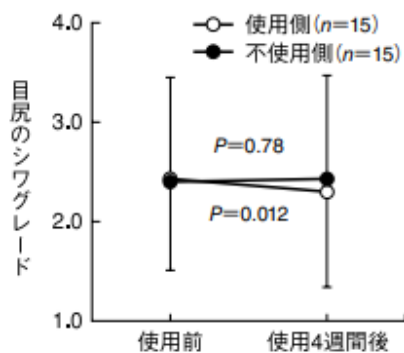
肌の透明感など13項目で改善

## 研究結果

### 1 試験品使用による目尻のシワグレードの軽減

臨床試験 4 週間後における試験品使用側と不使用側の目尻のシワの変化についてそれぞれ解析したところ、試験品使用側でのみ有意なシワグレードの減少 ( $P=0.012$ ) が観測された (図 1, 表 1)。また、使用側と不使用側のシワの変化について、群間比較を行ったところ、 $P=0.008$  と非常に高い有意差をもって使用側におけるシワグレードの改善が示唆された。

図 1 : 試験品 4 週間使用による目尻のシワグレードの変化



1日2回試験品を顔の半分のみパックし、4週間使用前後の目尻のシワグレードを、被験者の目尻の写真をもとに、日本化粧品学会のシワグレードを用いる単盲検試験により判定した。試験品使用側のみ有意なシワグレードの減少が認められた。  
エラーバー：標準偏差

表 1 : 試験品 4 週間使用前後による目尻のシワグレードの変化

		目尻のシワグレード		前後比較	群間比較
		使用前	使用4週間後	P値	P値
目尻のシワ (n=15)	使用側	2.43 ± 0.92	2.30 ± 0.96	0.012	0.008
	不使用側	2.40 ± 1.05	2.43 ± 1.04	0.18	

平均値 ± 標準偏差

## 2. 試験品使用による肌の状態の改善

試験品による、シワ軽減以外にも、肌の状態に与える影響を調べるために、検査 4 週間前後における肌のコンディションについて、被験者にアンケートを行った。試験品使用側の肌に関して、「シワ」「透明感」「明るさ」「潤い」「かさつき」「柔らかさ」「つや」「なめらかさ」「キメ」「化粧のり」「ハリ」「洗顔後のつっぱり感」「総合的な肌の満足感」の 13 もの項目で  $P < 0.01$  の高い有意差で改善が認められた（図 2, 表 2）。

図 2：試験品 4 週間使用による肌の状態の変化

1 日 2 回試験品を顔の半分にのみパックし、4 週間使用前後の肌の状態の変化を、被験者のアンケートから判定した。いずれの項目においても試験品使用側に有意な肌の状態の改善が認められた。エラーバー：標準偏差

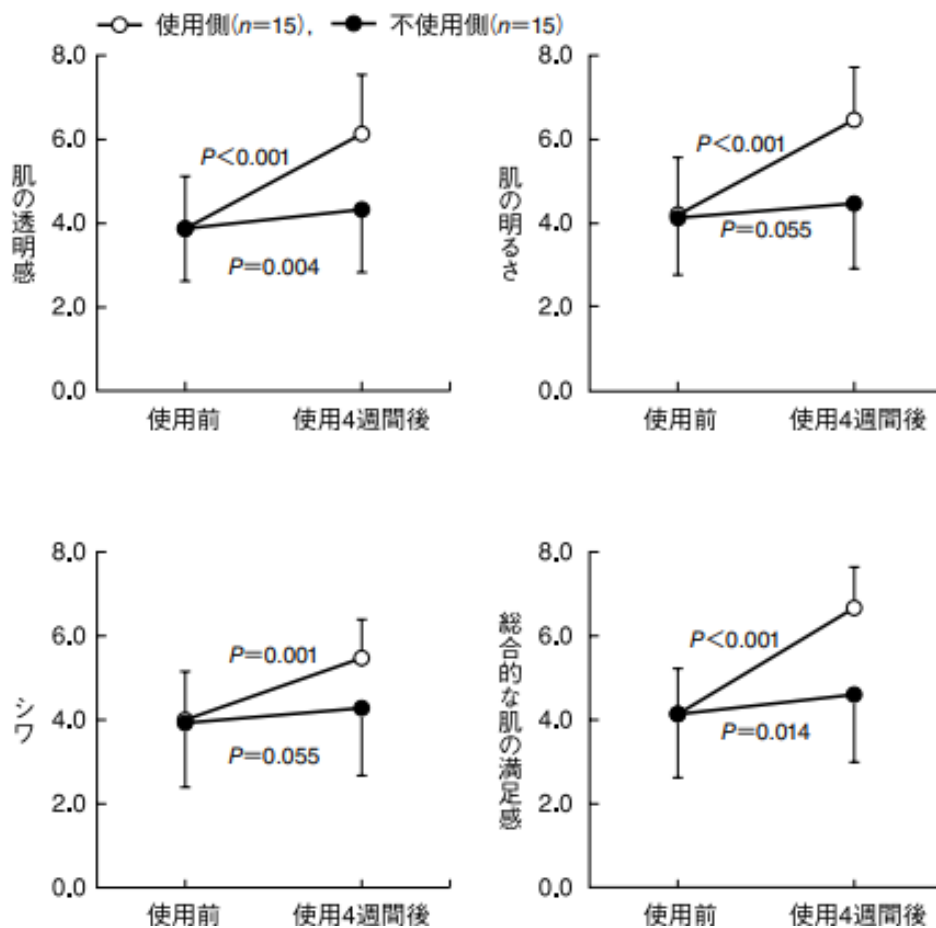


表 2： 試験品 4 週間使用による肌の状態の推移

		肌の状態		前後比較	群間比較
		使用前	使用 4 週間後	P 値	P 値
肌の透明感	使用側	3.87±1.25	6.13±1.41	<0.001	<0.001
	不使用側	3.87±1.25	4.33±1.50	0.004	
肌の明るさ	使用側	4.20±1.37	6.47±1.25	<0.001	0.001
	不使用側	4.13±1.36	4.47±1.55	0.055	
シワ	使用側	4.00±1.36	5.47±1.13	<0.001	0.003
	不使用側	3.93±1.33	4.27±1.39	0.055	
肌の潤い	使用側	4.07±1.16	6.20±1.01	<0.001	0.002
	不使用側	4.07±1.22	5.07±1.03	<0.001	
肌のかさつき	使用側	4.00±1.36	6.07±0.80	<0.001	0.003
	不使用側	4.07±1.33	5.00±1.13	0.002	
肌の柔らかさ	使用側	4.27±1.22	6.27±1.16	<0.001	0.004
	不使用側	4.27±1.22	4.87±1.36	0.014	
肌のつや	使用側	3.80±1.26	6.07±1.22	<0.001	0.004
	不使用側	3.80±1.26	4.67±1.54	0.004	
肌のなめらかさ	使用側	4.40±1.40	6.13±1.36	<0.001	0.004
	不使用側	4.40±1.40	4.93±1.62	0.056	
肌のキメ	使用側	4.00±1.65	5.80±1.66	0.001	0.002
	不使用側	4.00±1.65	4.33±1.76	0.096	
化粧のり	使用側	4.27±1.62	6.33±1.63	0.001	0.001
	不使用側	4.27±1.62	4.87±1.30	0.014	
肌のハリ	使用側	3.93±1.44	6.20±1.42	0.001	0.003
	不使用側	3.93±1.44	4.47±1.55	0.015	
洗顔後のつっぱり感	使用側	4.20±1.26	6.40±1.30	<0.001	0.001
	不使用側	4.20±1.26	4.67±1.23	0.20	
総合的な肌の満足感	使用側	4.13±1.30	6.67±1.18	<0.001	<0.001
	不使用側	4.13±1.30	4.60±1.40	<0.001	

平均値±標準偏差

なかでも「総合的な肌の満足感」に次いで、「透明感」「肌の明るさ」「肌のつや」の項目において 2.27 ポイントもの高い増加を示した。また、先のシワスケールによる試験結果同様に、被験者アンケートからも使用側でのみ有意な「シワ」の改善が明らかとなった。試験品はただシワを除去するだけでなく、肌のコンディションを整えることで肌の「透明感」「肌の明るさ」等の向上にも有効であることが示された。